

# たけしさんのスピーチ

終わりの会の時に、先生が、

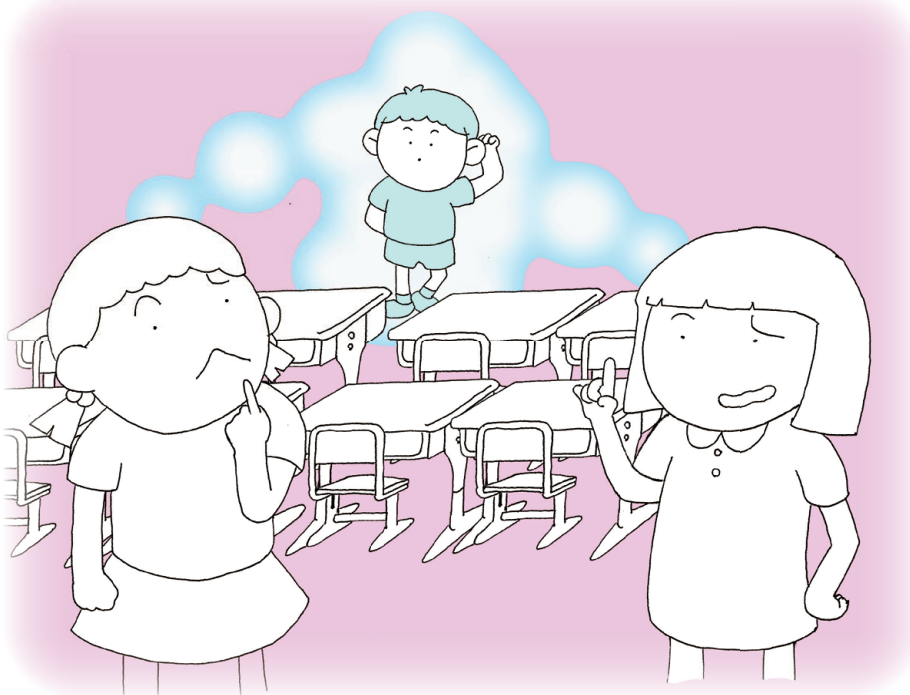
「朝の会のスピーチの時間に、はんの友だちのよいところを発表していきこう。」

来週からじゅん番にスピーチをしていくので、それまでに友だちのよいところをいっぱい見つけておこう。」

と言われました。わたしは、同じはんのまさおさん、かおりさん、あきらさんのよいところは、すぐに思いうかびました。しかし、どうしてもたけしさんのことは、思いつきませんでした。

次の日、「たけしさんのよいところはどんなところかな。」と考えて、教室の中でたけしさんのことを見ていましたが、やはり見つけられません。休み時間にかおりさんにたずねてみましたが、かおりさんもわたしと同じように、まだ見つけることができていませんでした。二人でいっしょに考えても、たけしさんは、おとなしいし、発表の声も小さいし、休み時間も一人でいることが多いみたいだし、そんなことしか思いつきませんでした。でも、そんなことは発表できないので、

「何か一つぐらいできとうにスピーチしたらいいよね。」  
ということになりました。



いよいよスピーチが始まりました。わたしたちのはんから始めることになり、じゅん番はじゃんけんで決めて、今日はたけしさんが朝の会で発表することになりました。わたしは、たけしさんがどんなことを言うのかなと、少しだけ思いました。たけしさんはいつものように小さな声で話し始めました。

かおりさんは、だれかがかたづけわすれたきゅう食の食きを、だまってきゅう食室に運んでいました。

あきらさんは、そうじの時間にほっきのはき方がとってもじょうずです。

まさおさんの大きなわらい声を聞くと、ぼくも楽しくなります。

よしみさんは、はんの話し合いの時、とてもたよりになるはん長です。

スピーチを聞いて、わたしは「たけしさん、すごい。」と心の中でつぶやきました。たけしさんは、わたしが気がつかなかったことを見つけました。そして、何だか悪いわることをしたような思いがしてきました。

家に帰ってから、たけしさんの小さな声でスピーチしているすがたが、頭の中にうかんできました。明日の朝の会は、わたしの番です。もう一度たけしさんのスピーチを思い出しました。たけしさんのよいところが、見つけれられたような気がしてきました。

